

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



暦の上では既に冬。  
寒い季節の到来です。  
今年は、猛暑の夏から急激に気温が下がり、慌てて冬の準備をされた方も

多かったのではないのでしょうか？

私も、夏服から冬服に入れ替える時間がなかった為、慌てた1人です。

でも、こんな年は紅葉が美しいとも言われますので、あちらこちらできれいな景色を楽しむことができるかもしれません。

暖かい日を選んで、いつもより少し遠くまで足を延ばしてみませんか？

春の桜同様、紅や黄色に色づいた樹木を見る時、美しい四季に恵まれた国に生まれた喜びを再認識することでしょう。



大工の竹下さんです

当社の大工さんは、青森・秋田・岩手県など東北地方の出身者が多いのですが、竹下さんは珍しく地元東京の出身です。

好き嫌い無し。趣味は仕事。苦手なこと無し。長身で31歳・・・

と聞けば、まさに理想の男性と映るはずですが、残念ながら(?) 子供さん2人のお父さんです。しかも、小学6年生の男の子と小学1年生の女の子と聞き又びっくり！

若くて素敵なお父さんなのです。

ふだんは「常に本気で」をモットーに仕事に取り組んでいます。

その一生懸命働く姿を2人の子供さんは、とても尊敬しています。

忙しい合間の唯一の息抜きは、休日のショッピングタイム。



この日ばかりは、仕事を忘れ、優しいお父さんに戻って、2人の子供さんと思いきり買い物を楽しむそう。

目的は、ほとんどが洋服選び。

あちこちお店を覗いて、お気に入りを探す時間が「最高に幸せ！」とにっこり。

優しく強いヒーロー父さん。

これからもよろしく願いいたします。

## 「酉の市」

11月の酉の日(十二支)に、「1年の無事を感謝し、来る年の幸せを願う」酉の市は、江戸時代から続く代表的な年中行事です。

多くの露天商が立ち並び、手締め音があちこちから聞こえ、境内は大賑わい。

福をかき込むといわれる開運・商売繁盛の縁起物「熊手」をゲットするのもよし、屋台の味を堪能するのもよし。

粋で賑やかなお祭りを楽しんでください。



東京では、浅草鷲神社や新宿花園神社が有名で、毎年多くの参拝客で賑わいます。

## 心の支え



♪♪母さんが夜なべをして・・・♪♪

この歌を聴くと、ある 1 人の女性を思い出します。

ずいぶん前に聞いた話なのですが、今でも忘れられません。

今回は、北国出身の友人の話を紹介します。

私の母は、この歌の母さんと同じなの。

「決して人に迷惑をかけてくれるな。そして、人の心を気遣う人になってほしい」

そう母は私に話していましたが、もうすっかり寒くなった北国で“モンペ”姿で忙しく動きまわっている母を思う時、人生の道しるべを母が示してくれたのだと感謝せずにはいられません。

「どこで、どんな生き方をするにせよ、与えられた人生にひたむきであること。  
そして、誰かの心の中にしっかりと根を張り、その人を強くするように力を養うこと」

母の姿から教わった私の人生観です。

忙しい毎日を過ごしていると、考えることを忘れかけた自分がいます。  
そんな時、母を思い出しては、自分自身に“喝”を入れています。

私はこの話を聞いた時、感動しました。

なんて強くてやさしいお母さんなのだろうって・・・。

厳しい環境でも、しっかりと大地に足をつけ生きている姿こそ、まさに人生の道しるべを示してくれているようです。

さて皆さんは、どうお感じになりましたか？

♪♪木枯らし吹いちゃ・・・♪♪

遠く離れて暮らす家族を思いやる愛情は、何にも勝る大きさ・深さを感じますね。

人それぞれ、人生観なり、ものの見方、考え方は異なるでしょうが、何か一つ人生の指針となるもの、あるいは目標を持つことは大切だと思います。

有意義な、そして楽しい人生を歩むためにも何か“心の支え”となるものを持ちたいものですね。



### 「編集後記」

最近、子守歌や童謡を聞く機会が減ってしまったようで寂しい気がしています。

美しい日本語の響きとメロディーに込められた想い、また、季節や風景を思い浮かべる楽しみや、大切な人たちを懐かしむすてきな歌がたくさんありますので、祖父母から両親へ、そして子供や孫たちへと長〜く、歌い継がれることを願います。

皆さんはどの曲がお好きですか？

人それぞれ、歌にまつわる思い出と共に、いつまでも心に留めておきたい曲があると思います。

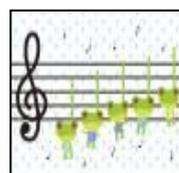
大切にしましょうね！！

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールは [info@ysrg-wh.com](mailto:info@ysrg-wh.com)

FAX は 03-3959-8743

TEL は 03-3959-8797



お待ちしております！！

編集責任者

渡辺 田鶴子